

6月1日 誠真会館 合同審査会 合否結果

審査内容

氏名	基本手技	基本蹴り技	移動手技	移動足技	型	組手	補強	合・否	コメント
幼・少年部									
五十嵐 二葉	8	8	9	9	9	/	△	オレンジ帯昇級	大会での優勝・入賞優遇有 引手の甘さがあるのでしっかり構えること。 移動稽古中に下をみるので前をむいてしっかり技を出すこと。
福島 慎士	9	9	9	10	10	/	◎	オレンジ帯昇級	突きの移動稽古では、同時に引手と突きを出すこと。左右がバラバラなのでそこを修正すること。 全体的にしっかり出来ていました。
國井 晴太	9	10	9	8	6	8	△	保留	技を出す力強さがよかったです。 型の引手がなく下段払いが払い手しかなかったののでその修正後に道場で再審査を行います。
■赤帯以上から、審査基準が厳しくなります。									
岡野 駿一	8	8	7	8	7	8	△	水色帯昇級	基本稽古時の手刀の引手が脇に残るのでしっかり打つ瞬間に引くこと。 蹴り技の時に、首や体の軸がぶれる。 真っすぐに立つことを意識すること。 組手では、単発の攻撃が目立つので突き蹴りを混ぜて、連続で技を出せるようにすること。
木下 知美	9	10	10	10	9	10	◎	青帯昇級	大会での優勝・入賞優遇有 技が全て丁寧に出ています。丁寧さプラスで力強さ・スピードが出ると◎。 組手での技の多さに組み立てがよかったです。
関口 奨	10	9	8	8	9	9	○	臙脂帯昇級	移動稽古では、前屈立ちが甘いのでしっかり腰を落とすこと。技を出すときに下を向くので前を向くこと。 型の後屈立ちの後ろ足が真横を向いているので斜めを意識すること。 組手では、積極的にフットワークも駆使する攻防のバランスがよかったです。
一般部									

※補強審査は、一般は黄帯以上から、幼・少年部は、オレンジ帯以上から審査結果に影響致します。
※6点以下は、一つでもあれば不合格もしくは、保留になります。